

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束をしないケアの実践において当日の勤務者が集まって話し合っているがその場だけで話し合い一人一人のスタッフがケアの取り組みに関する問題意識が低い。	担当者を各階で決めると共にまずは各階で本当に身体拘束が必要か、身体拘束をせずに対応出来ないか話し合い時間を短くするなど身体拘束をしないケアについて話し合い、身体拘束委員会や系列施設に情報などを求めていく。	各階2人の身体拘束委員会の委員を決め話し合いでリーダーを決めてリーダーを中心に身体拘束をしなくても対応が出来る状態の入居者様を各階で話し合いリストアップし4階、5階においては一人ずつではあるが身体拘束を中止出来ている。	2カ月
2	35	災害対策について火災時同一建物内の他事業所と連携し訓練を行っているが各構造の把握やスタッフ同士の行き来がない為いざという時に名前等分らず連携が取りにくい。地震時の訓練が出来ていない。	新しく入ったスタッフに消火器の使用方法や緊急時連絡網の重要性を説明し理解してもらおうと共に避難訓練を全スタッフが行い緊急時に対する行動がスムーズに出来るようにする。地震時における避難経路を理解し実施する。	スタッフに消火器の使用方法の確認を行い緊急連絡網を各階の見える所(ご家族様にも分かるように)に掲示する。避難訓練においてはスタッフ全員が避難経路を理解し同一建物内の他事業所との親睦を深め災害時の協力体制を強化する。	6カ月 (随時)
3					カ月
4					カ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。
評価結果の通知を受けた日から概ね2週間から30日以内に作成し、市町と評価機関に提出して下さい。(提出必須)